

泉州救急懇話会の概要

開催日時：第9回：平成29年3月6日 午後2時～3時10分

第10回：平成29年9月14日 午後2時～3時35分

場所：大阪府岸和田保健所2階

出席委員：岸和田市医師会、和泉市医師会、大阪府病院協会、三次救急告示医療機関、二次救急告示医療機関、泉州南広域消防本部、岸和田市消防本部、泉大津市、大阪府医療対策課、泉州圏域の保健所長

報告

○運営規約について

構成員の変更のため、平成29年4月1日より運営規約を制定。消防機関の代表を泉州南広域消防本部に加え新たに岸和田市消防本部より1名委員を選任した。

議事

○救急搬送実態調査について

- ・搬送困難症例について10病院以上選定を要した割合が順調に減少している。
- ・ORION（大阪府救急搬送支援・情報収集・集計分析システム）データについてシステム上、高石市が堺圏域となるため高石市のデータ分析ができないという課題がある。

（委員より意見）

- ・救急搬送時間60分以上の件数がまだ減らない。要因として南北に長い泉州圏域の地理的要件に加え、医療資源のアンバランスがある。これについては、長距離搬送と転帰不良の関連性について調査分析をしていく必要がある。
- ・高齢者の救急搬送患者は搬送時間の現場滞在時間が延びていることがある。今後高齢者の救急医療体制については検討すべき課題が出てくる。

○第7次大阪府保健医療計画について

- ・府域版素案に基づく圏域版素案を説明。

（委員より意見）

- ・救急車の適正利用について、圏域でも啓発していく必要があるのではないかと。
- ・合併症支援システムについて現場サイドでの周知が充分ではない。実際当直するドクターや救急外来のナース、事務系の職員の方にも周知を図っていく必要がある。

○情報提供・その他

- ・泉州地域では消防側が入力したデータに対して病院側がデータを入力している率が非常に高い。
- ・ORIONの改修に伴い、統計情報メニューが利用できるようになった。

以上